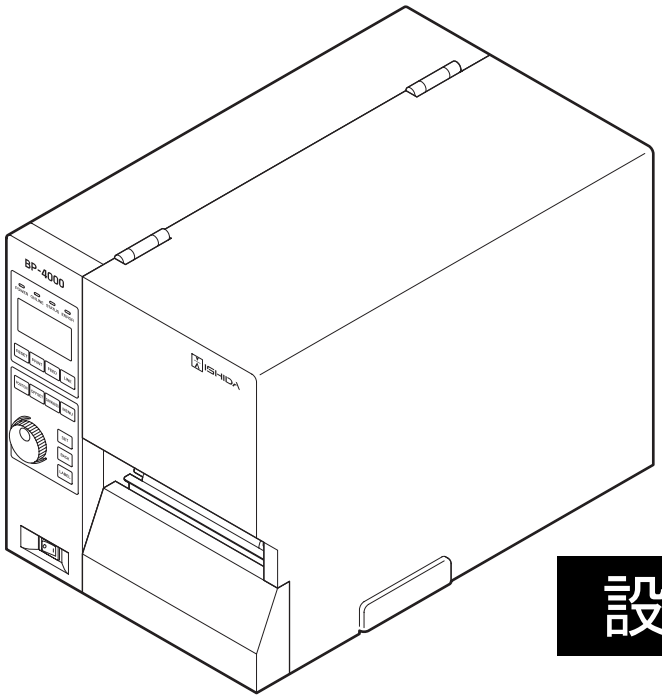
ISHIDA

ハイクオリティラベルプリンタ

BP-4000



設定ツール取扱説明書

株式会社イシダ

本取扱説明書の内容は、予告なく変更する場合があります。
あらかじめご了承ください。

目次

はじめに 2

おねがい.....2

1　使用環境 3

2　BP-4000 設定ツールの起動方法.....4

3　BP-4000 設定ツールメニュー.....5

4　取扱説明書メニュー.....6

5　LAN接続のネットワークを設定する 7

6　プリンタを設定する 8
6.1　パソコン側のシリアル通信設定 11

7　プリンタ設定画面について 12
7.1　ラベルセットモードの設定 13
7.1.1　印字条件を変更する.....13
7.1.2　印字条件を新規登録する 14
7.1.3　印字条件を流用して登録する 14
7.1.4　印字条件を削除する.....15
7.1.5　印字条件の設定項目.....16
7.2　アドバンスモードの設定 22
7.2.1　アドバンスモードの設定項目 22
7.3　インターフェースモードの設定 26
7.4　共通項目.....27
7.5　メニュー項目.....28

8　インストールメニュー 30
8.1　インストールメニュー画面.....30
8.2　プリンタドライバのインストール 31
8.3　バーコードOLEサーバのインストール 32
8.4　BP-4000 設定ツールのインストール 33

9　エラーー覧 35
9.1　エラー画面 35
9.2　警告メッセージ.....37

はじめに

このたびは「BP-4000設定ツール」をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
「BP-4000設定ツール」とは、ハイクオリティラベルプリンタ BP-4000（以下プリンタと略します）に関連するマニュアル類の閲覧や、ドライバ類のインストール及びプリンタの設定を行うソフトです。特にプリンタの設定を行うには、プリンタ自体に操作パネルがありませんので、この設定ツールを使用して各種設定を行ってください。

おねがい

- 本書の内容を無断で転載することを固くお断りします。
- 製品の改良などにより、本書の内容に一部、製品と合致しない箇所の生じる場合があります。ご了承ください。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 万全を期して本書を作成していますが、内容に関して、万一間違いやお気づきの点がございましたら、ご連絡いただきますようお願い申しあげます。
- 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えします。最寄りの弊社販売店までご連絡ください。
- 機器、システムの本体トラブルについては、個々のメンテナンス契約に準じた対応をさせていただきますが、本体トラブルによる作業ストップなどの副次的トラブルについては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

・ Microsoft®およびWindows®は米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標または商標です。
・ Adobe Reader、AdobeはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の登録商標または商標です。

©2007 株式会社イシダ

1　使用環境

本製品は以下のシステムおよび環境でご使用できます。

ソフトウェア

日本語 Windows Vista Home Basic/ Home Premium/ Business/ Enterprise/ Ultimate

日本語 Windows 7

日本語 Windows 8

推奨するハードウェア

OS環境（日本語）	Microsoft Windows Vista Microsoft Windows 7 Microsoft Windows 8
パソコン本体	PC/AT（互換機） Pentium 1.5 GHz以上
メモリ	1 GB以上
ハードディスク空き容量	5 GB以上

対象プリンタ

ハイクオリティラベルプリンタ BP-4000

2　BP-4000設定ツールの起動方法

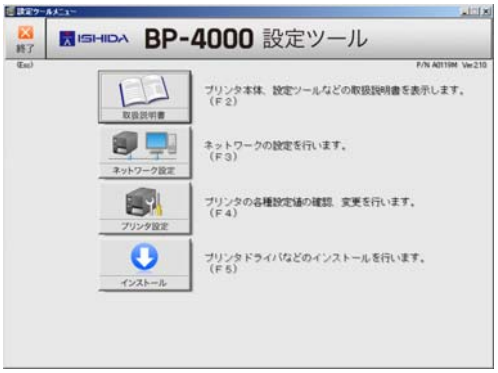
ここでは、「BP-4000設定ツール」の起動方法について説明します。

1　コンピュータを起動します。

2　光学ドライブに、付属のCD-ROM「BP-4000設定ツール」をセットします。

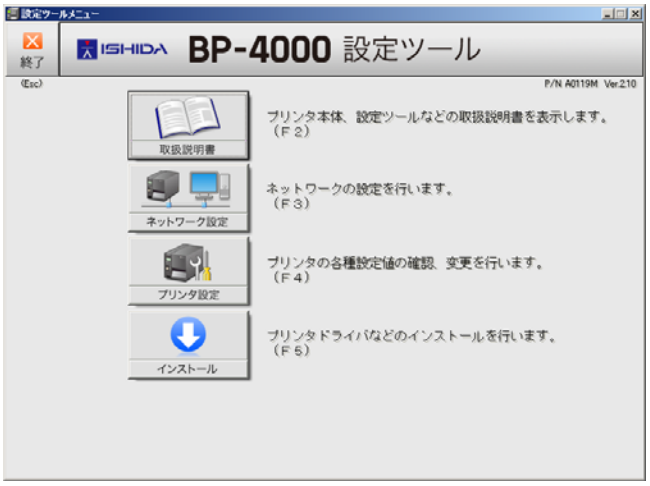
しばらくすると「BP-4000設定ツール」が起動し、メニュー画面が表示されます。

「BP-4000設定ツール」が起動しない場合はマイコンピュータを開いて、CD-ROMをセットした光学ドライブをダブルクリックしてください。



3　BP-4000設定ツールメニュー

ここでは、「BP-4000設定ツールメニュー画面」の表示内容と操作方法について説明します。
「BP-4000設定ツール」を起動すると、BP-4000設定ツールメニュー画面が表示されます。



各ボタンについて説明します。

ボタンの種類	ボタン操作の内容
	本ボタンをクリックまたはキーボードの「F2」キーを押すと、取扱説明書の選択画面が表示されます。BP-4000の操作説明や、「BP-4000設定ツール」に付属されています各種ソフトの操作説明などを見ることができます。 取扱説明書の選択画面の内容については、P.6「4　取扱説明書メニュー」をご覧ください。
	本ボタンをクリックまたはキーボードの「F3」キーを押すと、LAN上に接続されているプリンタの一覧を確認する画面が表示されます。LAN接続時のみ、初めてBP-4000を使用する場合に、最初に一度だけ行います。 パソコンとBP-4000が正常に接続されているか確認することができ、通信設定も行うことができます。本ボタンをクリックしての操作内容については、P.7「5　LAN接続のネットワークを設定する」をご覧ください。
	本ボタンをクリックまたはキーボードの「F4」キーを押すと、プリンタの選択画面が表示されます。コンピュータに接続しているBP-4000の設定を行うことができます。本ボタンをクリックしての操作内容については、P.8「6　プリンタを設定する」をご覧ください。
	本ボタンをクリックまたはキーボードの「F5」キーを押すと、インストール画面が表示されます。BP-4000のプリンタドライバや「BP-4000設定ツール」に付属されているソフトのインストールを行うことができます。インストール画面の内容については、P.30「8　インストールメニュー」をご覧ください。
	本ボタンをクリックまたはキーボードの「Esc」キーを押すと、「BP-4000設定ツール」を終了します。

4　取扱説明書メニュー

この画面より、見たい取扱説明書のボタンをクリックして取扱説明書を参照することができます。

参考

取扱説明書は全てPDFファイルです。
PDFの表示ソフトをお持ちでない場合は、Adobe Readerインストールボタンをクリックして表示ソフトを事前にインストールしておいてください。

各ボタンについて説明します。

ボタンの種類	ボタン操作の内容
	本ボタンをクリックまたはキーボードの「F2」キーを押すと、BP-4000取扱説明書のPDFが表示されます。 BP-4000の操作、設定、メンテナンスなどの方法について記載した取扱説明書です。
	本ボタンをクリックまたはキーボードの「F3」キーを押すと、コマンドリファレンス取扱説明書のPDFが表示されます。 BP-4000で使用できるコマンドについて記載した取扱説明書です。
	本ボタンをクリックまたはキーボードの「F4」キーを押すと、インターフェース取扱説明書のPDFが表示されます。 BP-4000のインターフェースについて記載した取扱説明書です。
	本ボタンをクリックまたはキーボードの「F5」キーを押すと、プリンタドライバ取扱説明書のPDFが表示されます。 コンピュータにインストールする「BP-4000のプリンタドライバ」について記載した取扱説明書です。
	本ボタンをクリックまたはキーボードの「F6」キーを押すと、バーコードOLEサーバ取扱説明書のPDFが表示されます。 バーコード作成に使用するソフト「バーコードOLEサーバ」について記載した取扱説明書です。
	本ボタンをクリックまたはキーボードの「F7」キーを押すと、BP-4000設定ツール取扱説明書のPDFが表示されます。 「BP-4000設定ツール」の使用方法について記載した取扱説明書です。
	本ボタンをクリックまたはキーボードの「F8」キーを押すと、Adobe Readerのインストールが開始されます。 コンピュータにPDFファイルを表示するソフトがインストールされていない場合は、本ボタンをクリックしてインストールを行ってください。
	本ボタンをクリックまたはキーボードの「Esc」キーを押すと、メニュー画面に戻ります。

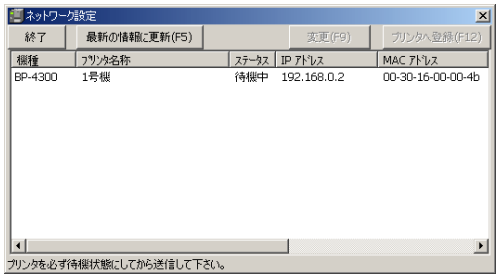
5　LAN接続のネットワークを設定する

ここでは、コンピュータにLAN接続している1台または複数台の本機のネットワーク設定手順について説明しています。
初めてプリンタを使用するときに、一度だけ行います。
LAN接続（オプション）している場合のみ、設定可能です。

参考
キーボードの「F2」キーを押しても、同様の操作となります。

1　「ネットワーク設定」ボタンをクリックします。

ネットワーク設定画面が表示され、コンピュータに接続しているBP-4000のネットワーク情報が一覧表示されます。
接続しているBP-4000がない場合は、画面下にエラーメッセージが表示されますので、接続を確認して 最新の情報に更新(F5) をクリックまたはキーボードの「F5」キーを押してください。
また、一覧の「ステータス」欄に“オフライン”と表示された機種の設定を行う場合は、実機の LINE を押してオンライン状態にした後に 最新の情報に更新(F5) をクリックまたはキーボードの「F5」キーを押して“待機中”の表示に切り替えてください。



参考
キーボードの「F9」キーを押しても、同様の操作となります。

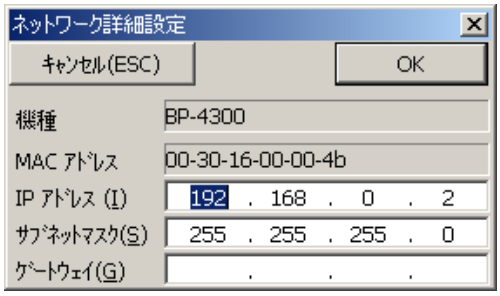
2　リスト欄からネットワークの設定を行う機種を選択（反転表示）し、変更(F9) をクリックします。

ネットワーク詳細設定画面が表示されます。

参考
ゲートウェイを使用しない場合は、空欄もしくはオールゼロを登録してください。

3　各項目を設定します。

以下の項目を設定します。
・IPアドレス
・サブネットマスク
・ゲートウェイ



4　設定内容を確認し、OK をクリックします。

ネットワーク設定画面に戻ります。

参考
キーボードの「F12」キーを押しても、同様の操作となります。

5　プリンタへ登録(F12) をクリックします。

接続されているすべてのプリンタに対してネットワーク情報を送信し、設定が更新されます。

6　終了 をクリックします。

ネットワークの設定を終了し、BP-4000設定ツールメニュー画面に戻ります。

6　プリンタを設定する

ここでは、コンピュータに接続しているBP-4000の設定手順について説明しています。

1　BP-4000をコンピュータに接続します。

【USBに接続する場合】

コンピュータを起動し、BP-4000とコンピュータをUSBケーブルで接続します。
初めてお使いの場合、標準USBドライバが自動的にインストールされます。

【シリアル（RS-232C）・パラレルに接続する場合】

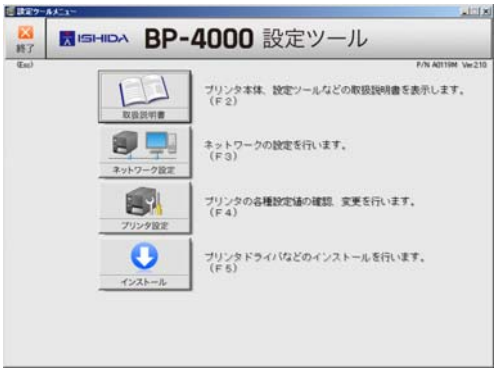
コンピュータの電源がOFFの状態のときにBP-4000を接続し、コンピュータを起動します。

【LANに接続する場合】

BP-4000とコンピュータをLANケーブルで接続します。

2　「プリンタ設定」ボタンをクリックします。

インターフェース選択画面が表示されます。

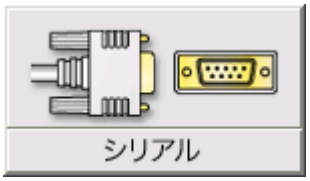


参考

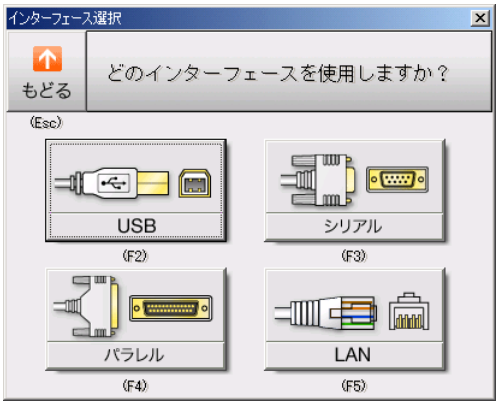
キーボードの「F4」キーを押しても、同様の操作となります。

3　コンピュータとBP-4000を接続しているインターフェースのボタンをクリックします。

【例】シリアル接続している場合



プリンタ選択画面が表示されます。



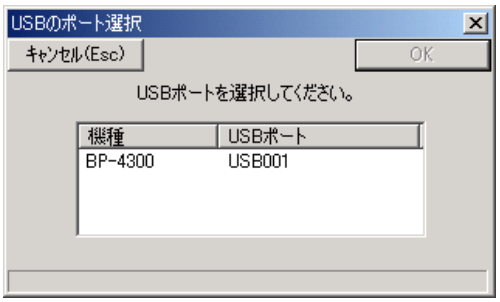
参考

「もどる」ボタンをクリックまたはキーボードの「Esc」キーを押すと、設定ツールメニュー画面に戻ります。

4 設定を変更するプリンタを選択します。

接続しているインターフェースによって表示および操作は異なります。

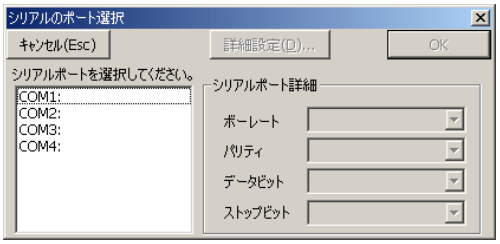
【USB接続の場合】



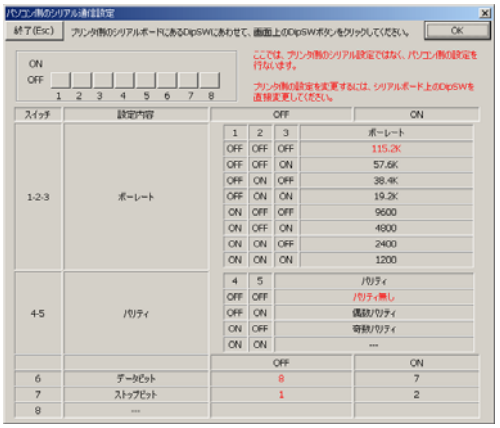
① USBポート選択画面が表示されます。
リスト欄から任意のプリンタを選択（反転表示）し、[OK] をクリックします。
プリンタ設定画面が表示されます。

接続に異常がある場合、画面下にエラーメッセージが表示されます。
接続を確認して [キャンセル(Esc)] をクリックまたはキーボードの「Esc」キーを押してインターフェース選択画面に戻り、手順3より再度操作してください。

【シリアル接続(RS-232C)の場合】

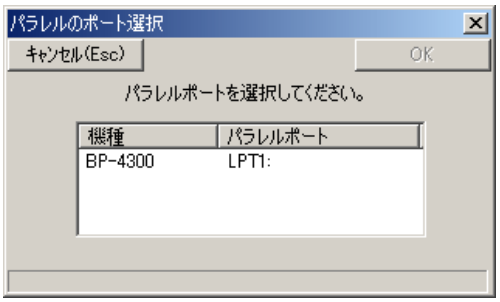


① シリアルのポート選択画面が表示されます。
リスト欄から任意のシリアルポートを選択（反転表示）して [詳細設定(D)...] をクリックします。
パソコン側のシリアル通信設定画面が表示されます。



② プリンタ側の通信設定状態が表示されますので、BP-4000に取り付けたインターフェースボードにある実際のディップスイッチを確認し、画面上のディップスイッチまたは表中の“ON”、“OFF”を操作して [OK] をクリックします。
シリアルのポート選択画面に戻ります。
③ [OK] をクリックします。
プリンタ設定画面が表示されます。

【パラレル接続の場合】



① パラレルのポート選択画面が表示されます。
リスト欄から任意のプリンタを選択（反転表示）し、[OK] をクリックします。プリンタ設定画面が表示されます。

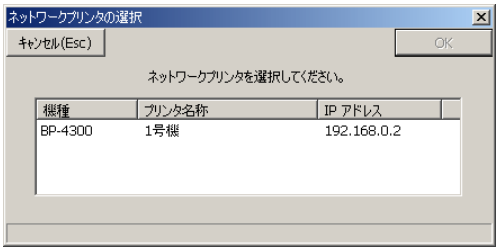
接続に異常がある場合、画面下にエラーメッセージが表示されます。
接続を確認して [キャンセル(Esc)] をクリックまたはキーボードの「Esc」キーを押してインターフェース選択画面に戻り、手順3より再度操作してください。

参考
シリアルの各設定値が分かっている場合は、「シリアルポート詳細」欄の各項目を直接操作できます。

参照
パソコン側のシリアル通信設定画面については、P.11「6.1 パソコン側のシリアル通信設定」をご覧ください。

参照
ディップスイッチの設定を忘れてしまった場合は、BP-4000取扱説明書を参照してインターフェースボードを一度外して設定を確認してください。

【LAN接続の場合】



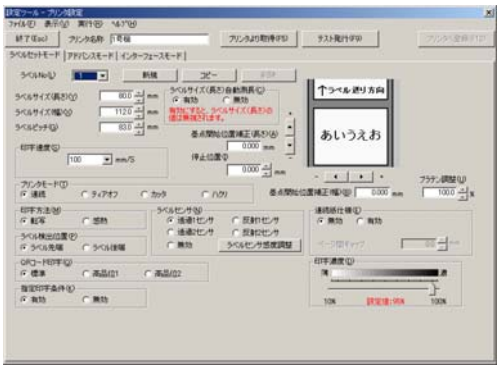
① ネットワークプリンタの選択画面が表示されます。
リスト欄から任意のプリンタを選択（反転表示）し、[OK] をクリックします。
プリンタの現在の設定内容を読み込み、プリンタ設定画面が表示されます。

接続に異常がある場合、画面下にエラーメッセージが表示されます。
接続を確認して [キャンセル(Esc)] をクリックまたはキーボードの「Esc」キーを押してインターフェース選択画面に戻り、手順3より再度操作してください。

参照
プリンタの設定方法については、P.12「7 プリンタ設定画面について」をご覧ください。

5 プリンタの設定を行います。

プリンタに対して、各設定を行います。



6 [プリンタへ登録(F12)] をクリックします。

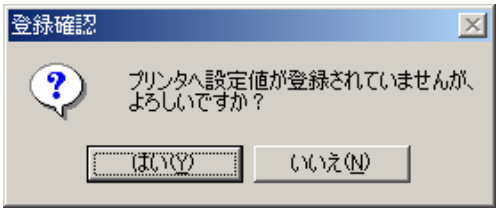
プリンタに対して設定情報を送信し、設定が更新されます。

参考
キーボードの「F12」キーを押しても、同様の操作となります。

7 [終了(Esc)] をクリックします。

プリンタの設定を終了し、BP-4000設定ツールメニュー画面に戻ります。

※ [プリンタへ登録(F12)] をクリック後に内容を変更した場合は、確認メッセージが表示されます。

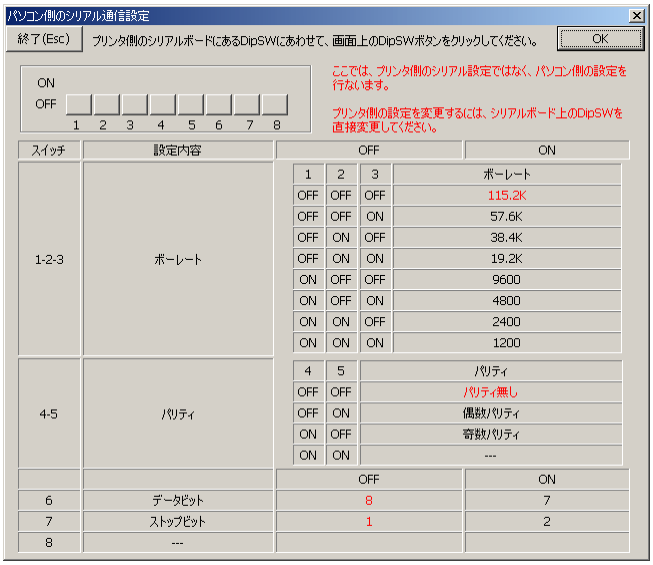


[はい(Y)] ： 更新せずに終了します。
[いいえ(N)] ： 終了を取り消します。

参考
キーボードの「Esc」キーを押しても、同様の操作となります。

6.1　パソコン側のシリアル通信設定

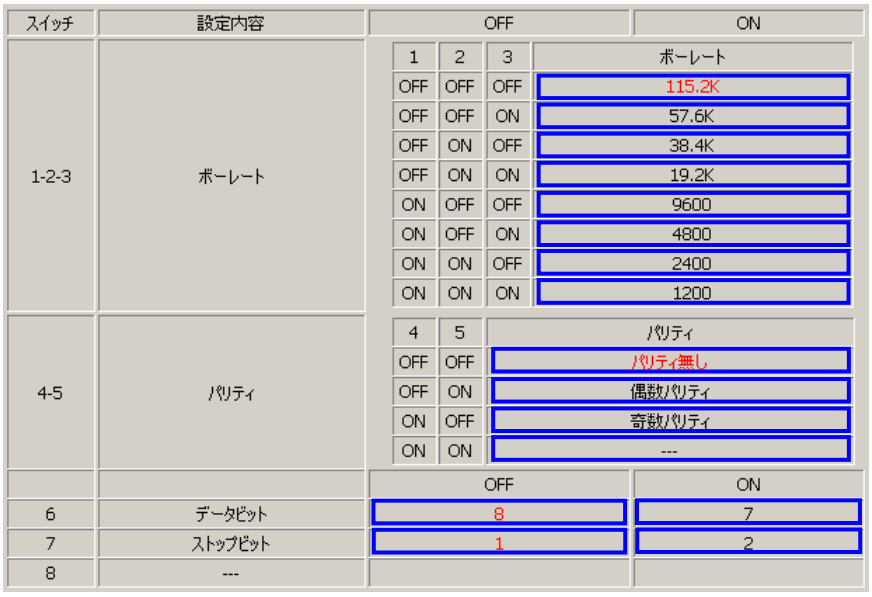
ここでは、パソコン側のシリアル通信設定画面について説明しています。



パソコンの設定をRS-232Cインターフェースボードの DipSWに合わせる方法は2種類あります。

DipSWをクリックする　：　RS-232Cインターフェースボードの DipSWと同じになるようにDipSWをクリックします。

設定内容をクリックする　：　以下の枠で囲まれたところをクリックするだけで、自動的に設定することができます。
設定内容は、赤文字で表示されます。

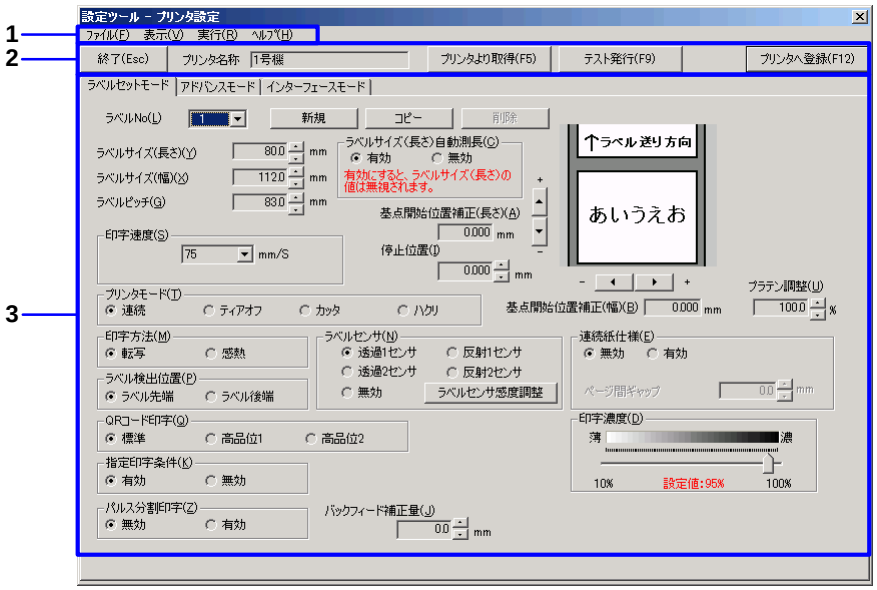


参考

設定可能なところにマウスがくると、マウスカーソルが に変化します。

7　プリンタ設定画面について

プリンタ設定画面では、印字位置調整や幅・濃度などの設定を細かく設定できます。



1 メニュー項目　：　メニューから、設定内容の保存や表示の切り替え、バージョン情報の確認などを行うことができます。
詳しくは、P.28「7.5　メニュー項目」をご覧ください。

2 共通項目　：　プリンタの名称設定や各ボタンによって設定内容をプリンタと送受信したりします。
詳しくは、P.27「7.4　共通項目」をご覧ください。

3 設定エリア　：　プリンタの各種設定を行います。
設定内容は、3種類の設定モードに分かれており、タブをクリックすることで各設定モードの項目表示に切り替わります。

ラベルセットモード

ラベルサイズや印字濃度など、ラベルの印字条件を設定することができます。
印字条件は、用途によってラベルNo.1～100まで登録することができます。
詳しくは、P.13「7.1　ラベルセットモードの設定」をご覧ください。

アドバンスモード

起動方法や言語切り替えなど、プリンタの基本動作について設定することができます。
詳しくは、P.22「7.2　アドバンスモードの設定」をご覧ください。

インターフェースモード

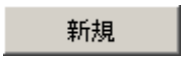
取り付けたインターフェースボード（オプション）の通信設定を行うことができます。
インターフェースの種類によって表示内容は異なります。
詳しくは、P.26「7.3　インターフェースモードの設定」をご覧ください。

7.1　ラベルセットモードの設定

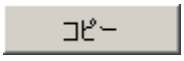
ここでは、ラベルセットモードの操作方法について説明しています。
ラベルサイズや印字濃度、ラベルの発行停止位置など、ラベルの印字条件を設定することができます。
印字条件はラベルNo.で管理されており、ラベルの種類や用途によって複数登録することができます。
本機では、ラベルNo.1～100まで登録が可能で、出荷時は初期値としてNo.1のみ登録されています。

「ラベルNo.」欄を操作することによって、印字条件に以下の処理を行うことができます。

：　既存の印字条件の設定を変更するときに操作します。
操作については、P.13「7.1.1　印字条件を変更する」をご覧ください。



：　新規に印字条件を登録するときに操作します。
操作については、P.14「7.1.2　印字条件を新規登録する」をご覧ください。



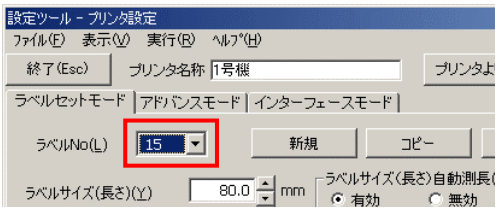
：　既存の印字条件を流用して新規登録するときに操作します。
操作については、P.14「7.1.3　印字条件を流用して登録する」をご覧ください。

：　既存の印字条件を削除するときに操作します。
操作については、P.15「7.1.4　印字条件を削除する」をご覧ください。

7.1.1　印字条件を変更する

1　「ラベルNo.」欄から、変更する印字条件（ラベルNo.）を選択します。

「ラベルNo.」欄の ▼ をクリックしてリストボックスを表示し、任意のラベルNo.を選択します。
選択した印字条件の設定内容が表示されます。

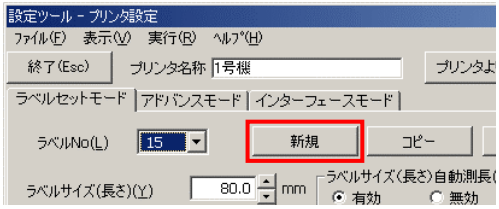


2　印字条件の各設定項目を変更します。

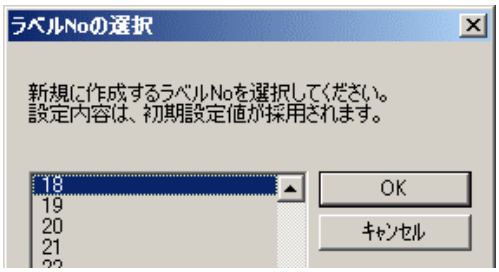
参照
印字条件の設定項目については、P.16「7.1.5 印字条件の設定項目」をご覧ください。

7.1.2 印字条件を新規登録する

1 「ラベルNo.」欄の [新規] をクリックします。
ラベルNo.の選択ダイアログが表示されます。



2 リスト欄から新規登録するラベルNo.を選択し、[OK] をクリックします。
ダイアログを閉じ、「ラベルNo.」欄に指定したラベルNo.が表示されます。

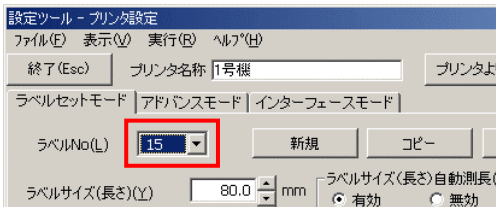


3 印字条件の各設定項目を変更します。

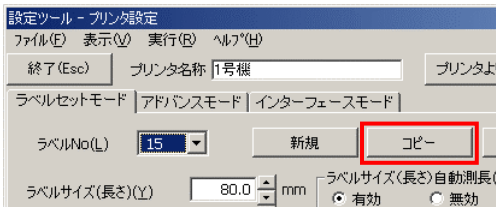
参照
印字条件の設定項目については、P.16「7.1.5 印字条件の設定項目」をご覧ください。

7.1.3 印字条件を流用して登録する

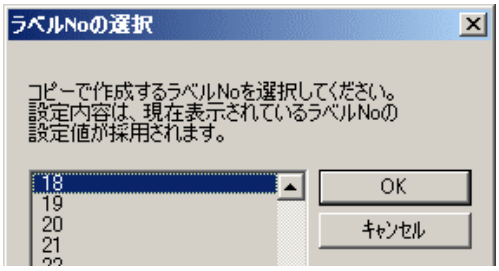
1 「ラベルNo.」欄から、コピー元となる印字条件（ラベルNo.）を選択します。
「ラベルNo.」欄の ▼ をクリックしてリストボックスを表示し、任意のラベルNo.を選択します。
選択した印字条件の設定内容が表示されます。



2 「ラベルNo.」欄の [コピー] をクリックします。
ラベルNo.の選択ダイアログが表示されます。



3 リスト欄から新規登録するラベルNo.を選択し、[OK] をクリックします。
ダイアログを閉じ、「ラベルNo.」欄に指定したラベルNo.が表示されます。



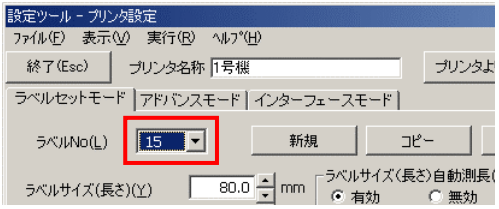
4 印字条件の各設定項目を変更します。

参照
印字条件の設定項目については、P.16「7.1.5 印字条件の設定項目」をご覧ください。

7.1.4 印字条件を削除する

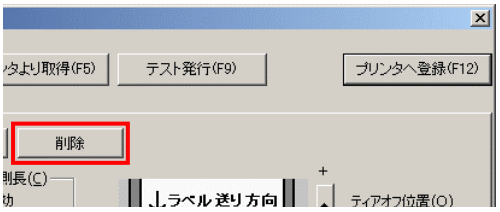
1 「ラベルNo.」欄から、削除する印字条件（ラベルNo.）を選択します。

「ラベルNo.」欄の ▼ をクリックしてリストボックスを表示し、任意のラベルNo.を選択します。
選択した印字条件の設定内容が表示されます。



2 「ラベルNo.」欄の 削除 をクリックします。

削除の確認メッセージが表示されます。

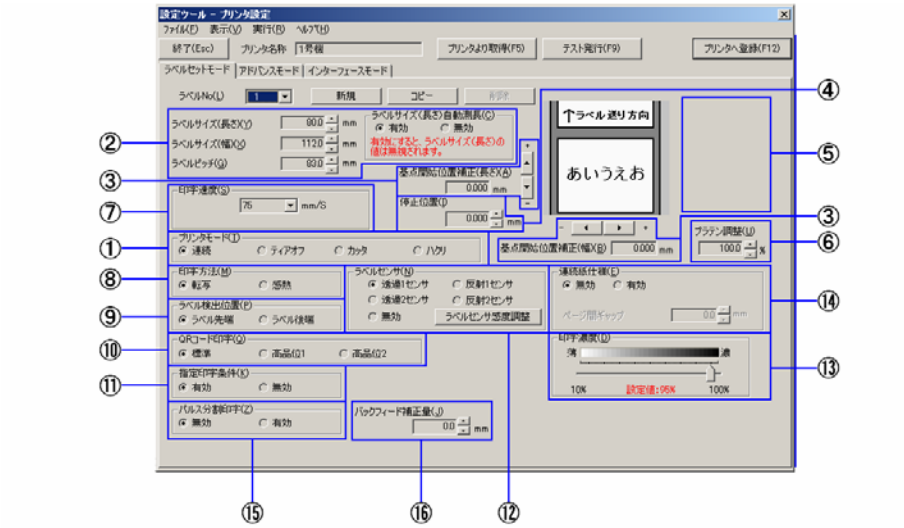


3 OK をクリックします。

メッセージを閉じ、印字条件が削除されます。

7.1.5 印字条件の設定項目

印字条件の設定項目について説明します。



① プリンタモード

発行後の動作方法を設定します。

任意のラジオボタンをONにしてください。

連続 ： 用紙を連続して発行します。

ティアオフ ： 発行した用紙をカット後、印字位置まで戻して次の発行動作に移ります。

カッタ ： 発行した用紙をカットし、次の発行動作に移ります。

※ カッタユニット(オプション)を装着している場合に有効となります。

ハクリ ： 発行したラベルを剥離し、一定時間待機して次の発行動作に移ります。

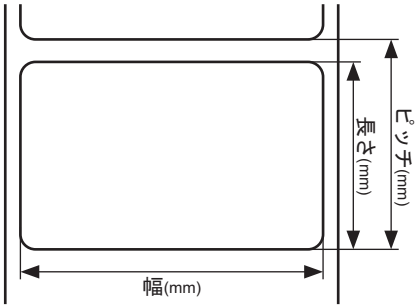
※ 剥離ユニット(オプション)を装着している場合に有効となります。

② ラベルサイズ

ラベルサイズを0.1mm単位で設定できます。

ラベルの長さは、ラベルセンサによって自動測長することができます。自動測長した値を有効にする場合は、「ラベルサイズ(長さ)自動測長」欄の“有効”のラジオボタンをONにしてください。

設定可能範囲は以下のようになります。



ラベルサイズ(長さ) ： [BP-4200(8dot/mm)の場合]
5.0～2500.0mm
[BP-4300(12dot/mm)の場合]
5.0～1500.0mm
[BP-4600(24dot/mm)の場合]
5.0～ 400.0mm

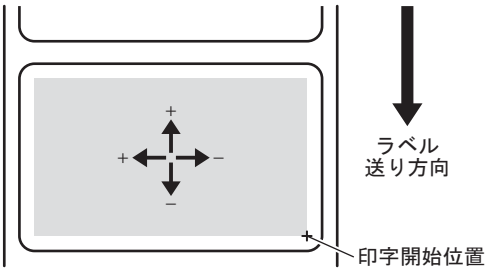
ラベルサイズ(幅) ： 5.0～ 112.0mm

ラベルピッチ ： [BP-4200(8dot/mm)の場合]
5.0～2500.0mm
[BP-4300(12dot/mm)の場合]
5.0～1500.0mm
[BP-4600(24dot/mm)の場合]
5.0～ 400.0mm

③ 基点開始位置補正

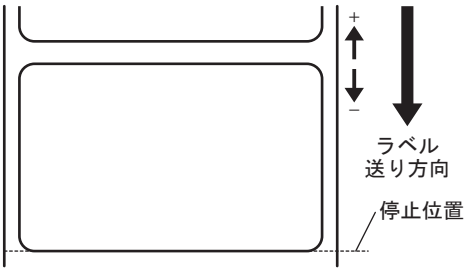
印字開始位置をヘッド密度単位で補正できます。
設定可能範囲は以下のようになります。

長さ　：　-400.000～400.000mm
幅　　：　-400.000～400.000mm



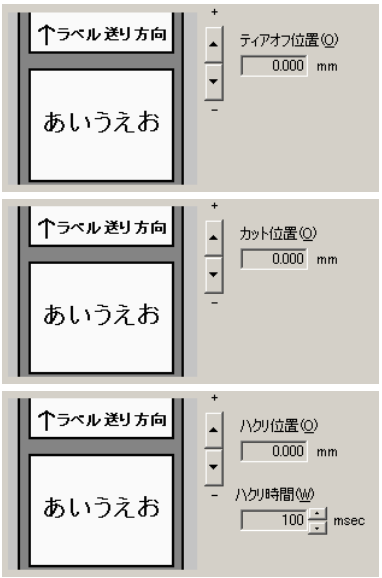
④ 停止位置

ラベルの検出位置をヘッド密度単位で補正できます。
設定可能範囲：-50.000～50.000mm



⑤ 動作位置（ティアオフ位置／カット位置／ハクリ位置／ハクリ時間）

印字後の動作位置をヘッド密度単位で設定できます。
「① プリンタモード」の設定によって、表示は異なります。



■ 表示なし（連続モードの場合）
連続発行するため、設定はありません。

■ ティアオフ位置（ティアオフモードの場合）
印字後、用紙をティアオフ動作するために移動する距離を設定します。
設定可能範囲：-50.000～50.000mm

■ カット位置（カッタモードの場合）
印字後、用紙をカット動作するために移動する距離を設定します。
設定可能範囲：-50.000～50.000mm

■ ハクリ位置（ハクリモードの場合）
印字後、ラベルを剥離動作するために移動する距離を設定します。
設定可能範囲：-50.000～50.000mm

■ ハクリ時間（ハクリモードの場合）
ハクリ位置で剥離動作を行うための待機時間を設定します。
設定可能範囲：0～5000msec

⑥ プラテン調整

印字ローラ（プラテン）の周長を0.1%単位で補正できます。
印字ローラ（プラテン）は、使用環境や年数によって、紙送りの周長が変動する場合があります。
この場合、正しく紙送りできるよう周長を補正してください。
補正値は、正常時を100%として、これに対する変動の割合で設定します。
設定可能範囲：90.0～110.0%

⑦ 印字速度

印字速度を25mm/s単位で設定できます。
印字品質が悪いときは、印字速度を下げてください。
設定可能範囲は以下のようになります。

BP-4200（8dot/mm）
感熱紙使用時 ……25～325mm/s
転写紙使用時 ……25～250mm/s

BP-4300（12dot/mm）
感熱紙使用時 ……25～325mm/s
転写紙使用時 ……25～250mm/s

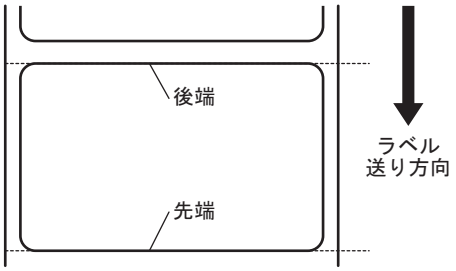
BP-4600（24dot/mm）
感熱紙使用時 ……25～150mm/s
転写紙使用時 ……25～ 75mm/s

⑧ 印字方法

印字用紙の種類を設定します。
任意のラジオボタンをONにしてください。
転写 ： 用紙に転写紙を用います。
感熱 ： 用紙に感熱紙を用います。

⑨ ラベル検出位置

ラベルの検出位置を設定します。
任意のラジオボタンをONにしてください。
ラベル先端 ： ラベル先端を検出位置とします。
ラベル後端 ： ラベル後端を検出位置とします。



⑩ QRコード印字

QRコードを印字するときの印字品質を設定します。
任意のラジオボタンをONにしてください。
以下に、推奨する印字品質を示します。

※ ラベルの種類によって、設定する条件は変わる可能性があります。

BP-4200（8dot/mm）の場合

		設定印字速度	
		25～150mm/s	175～250mm/s
1セルサイズ	2～4ドット	高品位1	―
	5ドット以上	高品位1	高品位2

BP-4300（12dot/mm）の場合

		設定印字速度		
		25～75mm/s	100～125mm/s	150～175mm/s
1セルサイズ	2ドット以下	－	－	－
	3ドット	高品位1	－	－
	4ドット	高品位1	高品位1	－
	5ドット以上	高品位1	高品位1	高品位2

BP-4600（24dot/mm）の場合

		設定印字速度
		25mm/s
1セルサイズ	4ドット以上	高品位1

⑪ 指定印字条件

BP-4000に印字データを送信するアプリケーション側で指定した印字条件を使用するか、BP-4000に設定した印字条件を使用するか設定します。
任意のラジオボタンをONにしてください。

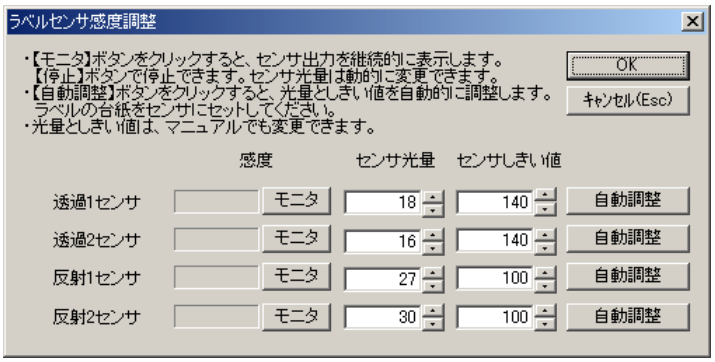
有効 ： 上位アプリケーションで設定した内容を印字条件として運用します。
無効 ： BP-4000側で設定した内容を印字条件として運用します。

⑫ ラベルセンサ

ラベル検出に使用するラベルセンサの種類を設定します。
使用する印字用紙によって、検出するセンサは異なります。
任意のラジオボタンをONにしてください。

ラベルセンサ	内　　容
透過	ラベルの透過率によってラベル検出を行う場合に選択します。 通常は透過1センサを使用します。 対象用紙：台紙付きラベル ※ ラベルピッチが7, 9, 12, 18, 35, 36, 37mmのいずれかの場合は、透過2センサを使用してください。
反射	ラベルの反射率によってラベル検出を行う場合に選択します。 通常は反射1センサを使用します。 対象用紙：アイマーク付きラベル ※ ラベルピッチが9, 12, 17, 18, 34, 35, 36, 37mmのいずれかの場合は、反射2センサを使用してください。
なし	ラベル検出を行わない場合に選択します。 対象用紙：連続紙

ラベルセンサ感度調整 をクリックしてラベルセンサ感度調整画面を表示させ、各ラベルセンサの感度を調整することができます。



【センサの感度調整方法】

調整方法には、自動と手動の2種類があります。

透過1センサ、透過2センサ、反射1センサ、反射2センサともに操作は同じため、ここでは「透過1センサ」を例に説明します。

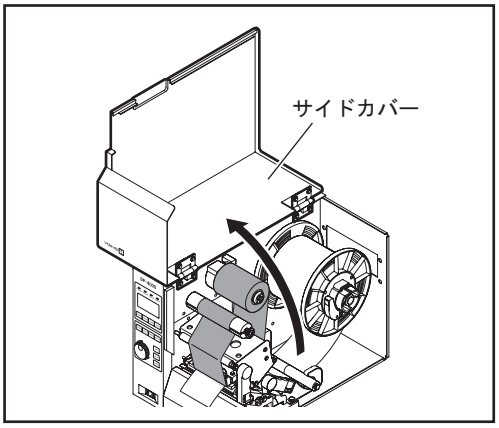
<u>自動調整する場合</u>

1 ラベルセンサ感度調整 をクリックします。

ラベルセンサ感度調整画面が表示されます。

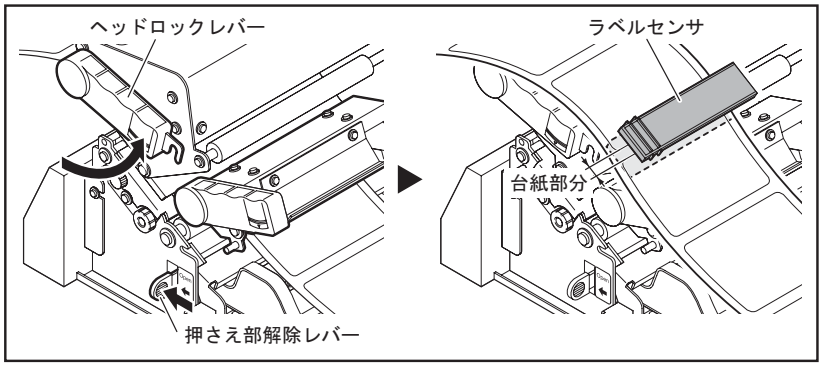
2 BP-4000にて、調整準備を行います。

① サイドカバーを開きます。

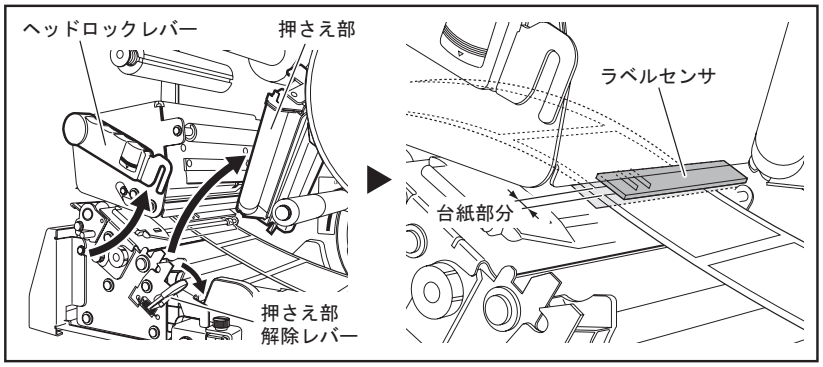


② ヘッド部と押さえ部をフリー方向に上げて、ラベルの台紙部分をラベルセンサの投受光間に配置します。

台紙の無い用紙の場合は、用紙の無地部分をラベルセンサに配置してください。



（BP-4600の場合は、押さえ部解除レバーの構造が以下のようになっています）



3 『透過1センサ』の 自動調整 ボタンをクリックします。

センサの感度調整を行い、各欄に調整結果を表示します。

4 調整結果を確認し、OK ボタンをクリックします。

調整結果を確定し、ラベルセンサ感度調整画面を閉じます。

BP-4000のヘッド部と押さえ部をロック状態にし、サイドカバーを閉じておいてください。

手動調整する場合

1 ラベルセンサ感度調整 をクリックします。

ラベルセンサ感度調整画面が表示されます。

2 『透過1センサ』の「センサ光量」「センサしきい値」欄に設定値を入力します。

設定可能範囲は、以下のようになります。

センサ光量 :0～100

センサしきい値 :0～255

参考

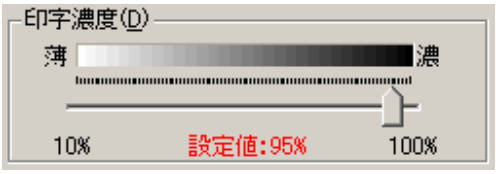
設定値を入力後に モニタ を押すと、「感度」欄にセンサ感度がリアルタイムで表示されます。設定値の目安にしてください。感度確認を終了する場合は、停止 を押してください。

3 OK ボタンをクリックします。

設定値を確定し、ラベルセンサ感度調整画面を閉じます。

⑬ 印字濃度

印字濃度を1%単位で設定できます。
印字できる最大濃度を100%として、これに対する濃度の割合で設定します。
設定可能範囲:10～100%



⑭ 連続紙仕様

連続紙の使用許可、および使用時の紙送り動作に関する補正値を設定します。
連続紙とは、実際に印字するデータが、ある部分で1ページの印字を停止し、次のページの先頭から印字する機能です。“有効”に設定した場合、ラベル検出はされず、「⑫ ラベルセンサ」を“なし”に設定した状態と同じ状態となります。
任意のラジオボタンをONにしてください。

無効 : 本印字条件を連続紙以外の運用として設定します。
有効 : 本印字条件を連続紙での運用として設定します。
この場合、「ページ間ギャップ」を設定する必要があります。

「ページ間ギャップ」

次回発行との間隔を0.1mm単位で設定できます。
設定可能範囲:0.0～100.0mm

⑮ パルス分割印字(BP-4600接続時のみ表示されます)

BP-4600では、繊細な印字を必要としますので、1ドット分の印字に複数回のパルス印加を行うことができます。
任意のラジオボタンをONにしてください。

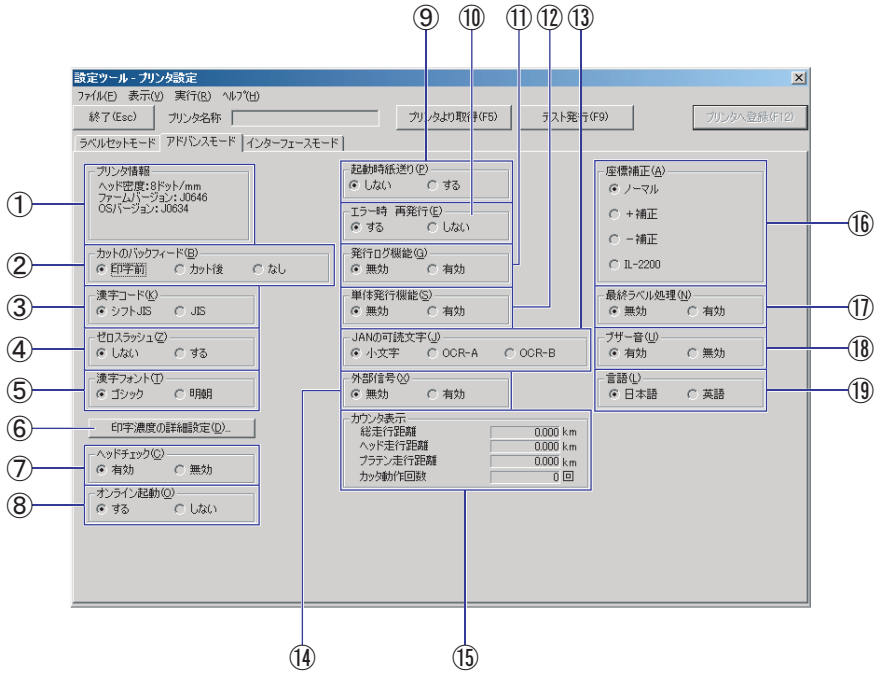
無効 : パルス分割印字を行いません。
有効 : パルス分割印字を行います。

⑯ バックフィード補正量(BP-4600接続時のみ表示されます)

ティアオフ後のバックフィード補正を行います。
バックフィード量の調整を0.1mm単位で設定できます。
設定可能範囲:1.0～-1.0mm

7.2 アドバンスモードの設定

ここでは、アドバンスモードの操作方法について説明しています。
起動方法や言語切り替えなど、プリンタの基本動作について設定することができます。



7.2.1 アドバンスモードの設定項目

アドバンスモードの設定項目について説明します。

① プリンタ情報

ヘッド密度、ファームバージョン、OSバージョンを確認することができます。

② カットのバックフィード

カット後の戻し動作を設定します。
任意のラジオボタンをONにしてください。

印字前 ： 印字前にカット位置からの戻し動作を行います。
印字後 ： 印字後、次の印字位置までの戻し動作を行います。
なし ： 戻し動作を行いません。

③ 漢字コード

アプリケーションからプリンタに対して送信される漢字コードの種類を選択します。
お使いのアプリケーションがJISコードで出力している場合は、ここをJISに切り替えてご使用ください。
任意のラジオボタンをONにしてください。

参考

お使いのアプリケーションがどちらの漢字コードを使用しているかわからない場合で、半角の英数字記号は正常に印字できるが、漢字だけ文字化けを起こすような場合は、JISコードで送信されている可能性がありますので、設定を“JIS”に変更してみてください。

④ ゼロスラッシュ

“ゼロ”の印字方法を設定します。
BP-4000に内蔵の半角数字のうち、ゼロだけ2種類のフォントを持っています。
任意のラジオボタンをONにしてください。

設定	内　　容	印字例
しない	“ゼロ”をスラッシュなしで印字します。	0
する	“ゼロ”をスラッシュありで印字します。	Ø

参考
内蔵フォントの半角数字のみに有効です。

⑤ 漢字フォント

漢字コマンド（ESC-K1、ESC-K2）で指定された漢字フォントの種類（ゴシック体／明朝体）を設定します。
任意のラジオボタンをONにしてください。

ゴシック　：　ゴシック体のフォントで印字します。
明朝　：　明朝体のフォントで印字します。

⑥ 印字濃度の詳細設定

アプリケーションでは、印字濃度が5段階で設定されています。
印字濃度の詳細設定(D)... をクリックして印字濃度の詳細設定画面を表示させ、各段階の印字濃度を設定して OK をクリックします。
また、「テスト発行」欄から任意の段階のラジオボタンをONにして テスト発行(F9) を押すことで、設定した印字濃度でテストラベルを発行することもできます。

注　記

『ラベルセットモード』の設定項目「指定印字条件」を“無効”に設定している場合は、テスト印字できません。

⑦ ヘッドチェック

ヘッド切れのチェックの有無を設定します。
任意のラジオボタンをONにしてください。

⑧ オンライン起動

起動時の状態（オンライン／オフライン）を設定します。
任意のラジオボタンをONにしてください。

⑨ 起動時紙送り

起動時に、紙送り動作するかどうか設定します。
任意のラジオボタンをONにしてください。

⑩ エラー時再発行

エラー発生時に、エラー直前に発行したものを再発行するかどうか設定します。
任意のラジオボタンをONにしてください。

⑪ 発行ログ機能

印刷枚数や操作したキーの種類などをプリンタに装着したCFカードに保存するかどうか設定します。
任意のラジオボタンをONにしてください。

注　記

この機能は、プリンタにCFカードスロット（オプション）を装着している場合のみ有効となります。

⑫ 単体発行機能

CFカードによって、プリンタを単体で運用するかどうか設定します。
任意のラジオボタンをONにしてください。

注　記

・この機能は、プリンタにCFカードスロット（オプション）を装着している場合のみ有効となります。
・単体発行として設定した場合、コンピュータとの受信は行われません。
・単体発行に必要なCFカードのデータファイルはLABEL SHOT SVで作成することができます。

⑬ JANの可読文字

バーコードに印字されるJANの可読文字の書体を設定します。
任意のラジオボタンをONにしてください。

設定	小文字	OCR-A	OCR-B
印字例			

⑭ 外部信号

外部信号の入出力を行うかどうか設定します。
任意のラジオボタンをONにしてください。

注　記

外部信号の入出力端子（オプション）を装着している場合のみ有効となります。

⑮ カウンタ表示

プリンタ内部で管理されている各種カウンタを確認することができます。

総走行距離　：　出荷時からの印字ローラ（プラテン）の回転による走行距離が表示されます。
ヘッド走行距離　：　ヘッドの走行距離が表示されます。
プラテン走行距離　：　印字ローラ（プラテン）の回転による走行距離が表示されます。
カッタ動作回数　：　カッタユニットによるカット動作回数が表示されます。

注　記

「カッタ動作回数」は、カッタユニット（オプション）を装着している場合のみ有効に表示されます。

⑯ 座標補正

コンピュータでの描画範囲と、実際に印字できる範囲に違いがある場合の、印字位置（座標）の補正方法を設定します。
任意のラジオボタンをONにしてください。

ノーマル　：　印字位置を補正しません。
＋補正　：　コンピュータで指定しているラベル幅が、実際に印字できる幅より小さい場合、その差の半分を右にずらすように補正します。
－補正　：　コンピュータで指定しているラベル幅が、実際に印字できる幅より大きい場合、その差の半分を左にずらすように補正します。
IL-2200　：　他のプリンタとして対応するように補正します。

⑰ 最終ラベル処理

台紙の最後のラベルを発行するとラベル終了エラーが発生します。エラーとなったそのラベルを有効なラベルとしてカウントするか、無効なラベルとしてカウントしないかを設定します。
任意のラジオボタンをONにしてください。

⑱ ブザー音

異常が発生した場合などに、ブザー音を鳴らすかどうか設定します。
任意のラジオボタンをONにしてください。

注　記

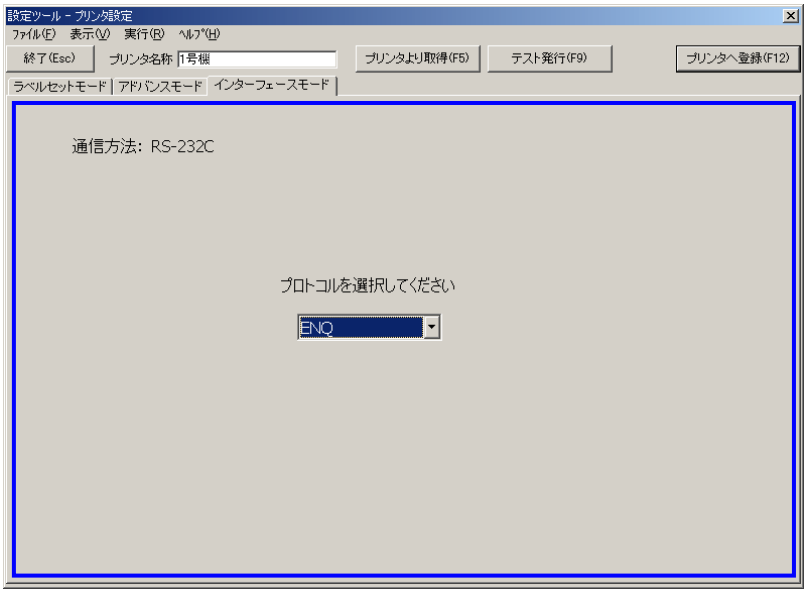
ブザー音を“無効”に設定しても、プリンタ側の設定『センサモード』での各センサの確認時のブザーは確認のため鳴ります。

⑲ 言語

プリンタのLCDに表示する言語モードを設定します。
BP-4000は、日本語と英語に言語を切り替えて表示することができます。
任意のラジオボタンをONにしてください。

7.3　インターフェースモードの設定

ここでは、インターフェースモードの操作方法について説明しています。
取り付けたインターフェースボード（オプション）の通信設定を行うことができます。



左上にインターフェースの通信方法が表示されます。

リストボックスの をクリックして、任意のプロトコルを選択してください。

各インターフェースで選択できるプロトコルは、以下のとおりです。

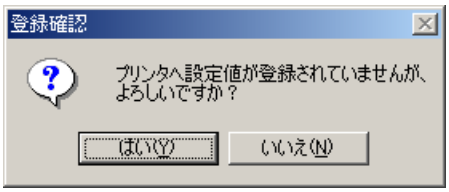
インターフェース	プロトコルの種類
USB	・ENQ ・STATUS 2 ・STATUS L ・DC2
パラレル	
LAN	
RS-232C	・RTS ITEM ・RTS MULT ・XON ITEM ・XON MULT ・ENQ ・STATUS 2 ・STATUS L ・DC2

7.4　共通項目

ここでは、プリンタ設定画面の共通項目について説明しています。

終了(Esc)　：　設定ツールメニュー画面に戻ります。

設定内容の変更をプリンタ側に送信せずにクリックした場合は、確認メッセージが表示されます。



はい(Y)　：　更新せずに終了します。

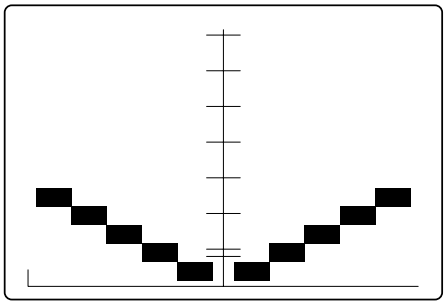
いいえ(N)　：　終了を取り消します。

プリンタ名称 1号機　：　プリンタの名称を任意に変更できます。

プリンタ名称は、プリンタへ登録(F12) をクリックすることでプリンタに記憶されます。

プリンタより取得(F5)　：　プリンタから最新情報を取得して、その内容を表示します。

テスト発行(F9)　：　設定変更した内容を一時的にプリンタに送信し、その内容でテストラベルを発行します。



注　記

テスト発行後、プリンタは設定変更した状態のままになっていますが、そのまま電源を切ってしまうと、元の状態に戻ってしまいます。変更した設定を記憶させる場合は、必ず プリンタへ登録(F12) をクリックしてください。

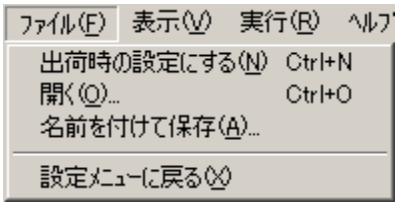
プリンタへ登録(F12)　：　設定変更した内容をプリンタに送信します。

設定を変更した場合のみ、選択可能になります。

7.5　メニュー項目

ここでは、プリンタ設定画面のメニュー項目について説明しています。

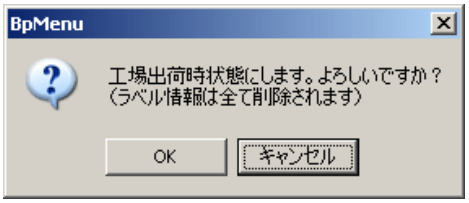
[ファイル]メニュー



：「出荷時の設定にする(N)」

いろいろな設定を変更しているうちに、間違った設定をしてしまうなど、プリンタの動作がおかしくなることがあります。このコマンドを実行すると、お客様がプリンタを購入したときの状態にすることができます。

コマンドを実行すると、確認メッセージが表示されます。



OK ： 初期化を実行します。

ギャンセル ： 実行を中止します。

⚠ 注　意

それまでに設定した情報は、全て削除されてしまいます。必要な情報は、あらかじめ控えをとっておくか、後述のファイル保存をしておくことをお勧めします。

注　記

通信設定は初期化されません。

出荷時の設定に戻す場合は、以下を参照して設定してください。

プロトコル	：	ENQ
IPアドレス	：	127.1.0.0
サブネットマスク	：	255.255.0.0
ゲートウェイ	：	0.0.0.0

「開く(O)…」

保存されている設定ファイルを読み込むときに選択します。

「名前を付けて保存(A)…」

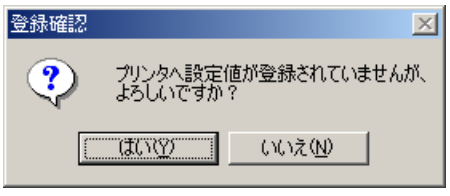
現在の設定をファイルに保存するときに選択します。

1つのプリンタで行った設定情報をこのコマンドを実行してファイルに保存後、別のプリンタを選択してから、保存しておいたプリンタ設定情報を**「開く(O)」**コマンドを実行して読み込み、そのままプリンタに送信することで、複数のプリンタをすべて同じ設定にすることもできます。

「設定メニューに戻る(X)」

設定ツールメニュー画面に戻ります。

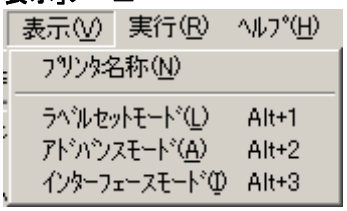
設定内容の変更をプリンタ側に送信せずにコマンドを実行すると、確認メッセージが表示されます。



はい(Y) ： 更新せずに終了します。

いいえ(N) ： 終了を取り消します。

[表示]メニュー



：「プリンタ名称(N)」

「プリンタ名称」欄にカーソルを移動します。

「ラベルセットモード(L)」

「ラベルセットモード」に表示を切り替えます。

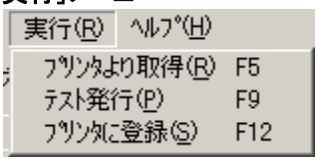
「アドバンスモード(A)」

「アドバンスモード」に表示を切り替えます。

「インターフェースモード(I)」

「インターフェースモード」に表示を切り替えます。

[実行]メニュー



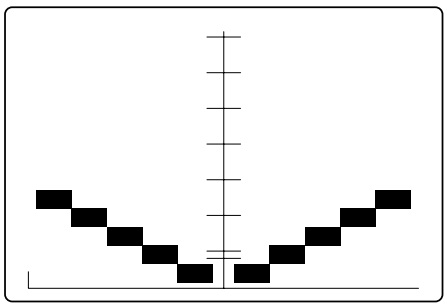
：「プリンタより取得(R)」

プリンタから最新情報を取得して、その内容を表示します。

プリンタより取得(F5) も同様の内容です。

「テスト発行(P)」

設定変更した内容を一時的にプリンタに送信し、その内容でテストラベルを発行します。



テスト発行(F9) も同様の内容です。

注　記

テスト発行後、プリンタは設定変更した状態のままになっていますが、そのまま電源を切ってしまうと、元の状態に戻ってしまいます。変更した設定を記憶させる場合は、必ず「プリンタに登録(S)」コマンドを実行してください。

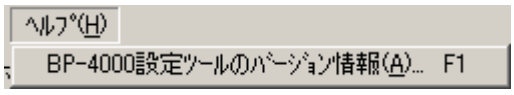
「プリンタに登録(S)」

設定変更した内容をプリンタに送信します。

設定を変更した場合のみ、選択可能になります。

プリンタへ登録(F12) も同様の内容です。

[ヘルプ]メニュー



：「BP-4000設定ツールのバージョン情報(A)…」

BP-4000設定ツール本体(BPMenu.exe)のバージョンが表示されます。

8　インストールメニュー

8.1　インストールメニュー画面

この画面より、BP-4000のプリンタドライバや各ソフトをインストールすることができます。

各ボタンについて説明します。

ボタンの種類	ボタン操作の内容
	本ボタンをクリックまたはキーボードの「F2」キーを押すと、プリンタドライバのインストール画面が表示されます。 本ボタンをクリックしての操作内容については、P.31「8.2　プリンタドライバのインストール」を参照してください。
	本ボタンをクリックまたはキーボードの「F3」キーを押すと、バーコードOLEサーバのインストール画面が表示されます。 本ボタンをクリックしての操作内容については、P.32「8.3　バーコードOLEサーバのインストール」を参照してください。
	本ボタンをクリックまたはキーボードの「F4」キーを押すと、BP-4000設定ツールのインストール画面が表示されます。本ボタンをクリックしての操作内容については、P.33「8.4　BP-4000設定ツールのインストール」を参照してください。
	本ボタンをクリックまたはキーボードの「Esc」キーを押すと、メニュー画面に戻ります。

8.2　プリンタドライバのインストール

Microsoft社製のWord等を利用してプリンタからラベルを発行させる場合には、あらかじめプリンタドライバを、お使いのパソコンにインストールする必要があります。
LABEL SHOT SVを使用して印刷を行う場合は、プリンタドライバは必要ありません。

注　記

BP-4000のプリンタドライバは随時バージョンアップします。
弊社ホームページをご確認いただき、最新のプリンタドライバをダウンロードしてインストールしておいてください。
ダウンロードを行うには、お客様でお使いのパソコンに、インターネットに接続するための環境を設定する必要があります。

注　記

Windowsは Administrator権限でログインしてください。

注　記

プリンタドライバをインストールするときは付属のCD-ROMからインストールしてください。
コンピュータにインストールした設定ツールからプリンタドライバをインストールすることはできません。

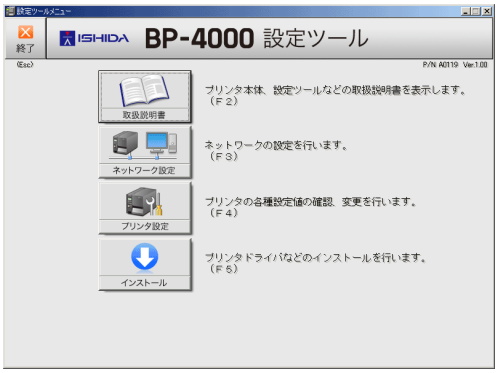
1　コンピュータを起動し、「BP-4000設定ツール」を起動します。

コンピュータを起動し、光学ドライブに付属のCD-ROM「BP-4000設定ツール」をセットします。
しばらくすると「BP-4000設定ツール」が起動し、メニュー画面が表示されます。
「BP-4000設定ツール」が起動しない場合はマイコンピュータを開いて、CD-ROMをセットした光学ドライブをダブルクリックしてください。

2　「インストール」ボタンをクリックします。

参考
キーボードの「F5」キーを押しても、同様の操作となります。

インストールメニュー画面が表示されます。



3　「プリンタドライバ」ボタンをクリックします。

参考
キーボードの「F2」キーを押しても、同様の操作となります。

参考
「もどる」ボタンをクリックすると、メニュー画面に戻ります。

プリンタドライバのインストール画面が表示されます。
詳細は、別途「プリンタドライバ取扱説明書」をご覧ください。

8.3 バーコード OLE サーバのインストール

Microsoft社製のWord等を利用してプリンタからバーコードの付いたラベルを発行させる場合には、あらかじめバーコードOLEサーバを、お使いのパソコンにインストールする必要があります。
LABEL SHOT SVを使用してラベルを発行する場合は、バーコードOLEサーバは必要ありません。

注　記

Windowsは Administrator権限でログインしてください。

注　記

バーコードOLEサーバをインストールするときは付属のCD-ROMからインストールしてください。
コンピュータにインストールした設定ツールからバーコードOLEサーバをインストールすることはできません。

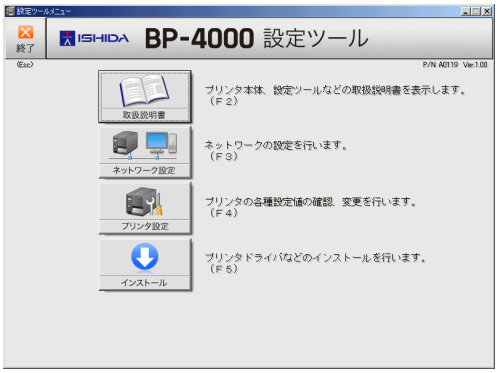
1 コンピュータを起動し、「BP-4000設定ツール」を起動します。

コンピュータを起動し、光学ドライブに付属のCD-ROM「BP-4000設定ツール」をセットします。
しばらくすると「BP-4000設定ツール」が起動し、メニュー画面が表示されます。
「BP-4000設定ツール」が起動しない場合はマイコンピュータを開いて、CD-ROMをセットした光学ドライブをダブルクリックしてください。

2 「インストール」ボタンをクリックします。

参考
キーボードの「F5」キーを押しても、同様の操作となります。

インストールメニュー画面が表示されます。



3 「バーコードOLEサーバ」ボタンをクリックします。

参考
キーボードの「F3」キーを押しても、同様の操作となります。

参考
「もどる」ボタンをクリックすると、メニュー画面に戻ります。

バーコードOLEサーバのインストール画面が表示されます。
詳細は、別途「バーコードOLEサーバ取扱説明書」をご覧ください。

8.4 BP-4000 設定ツールのインストール

コンピュータ側から本機の印字設定を行うための設定ツールをインストールします。

注　記

Windowsは Administrator権限でログインしてください。

注　記

BP-4000設定ツールをインストールするときは付属のCD-ROMからインストールしてください。
コンピュータにインストールした設定ツールからBP-4000設定ツールをインストールすることはできません。

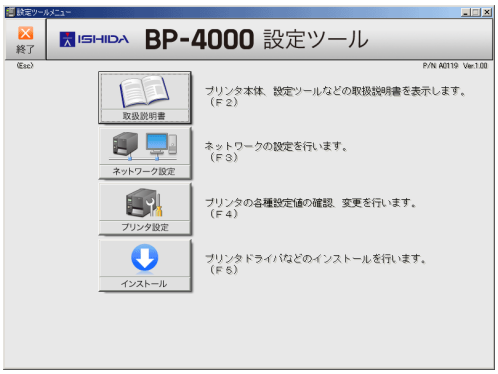
1 コンピュータを起動し、「BP-4000設定ツール」を起動します。

コンピュータを起動し、光学ドライブに付属のCD-ROM「BP-4000設定ツール」をセットします。
しばらくすると「BP-4000設定ツール」が起動し、メニュー画面が表示されます。
「BP-4000設定ツール」が起動しない場合はマイコンピュータを開いて、CD-ROMをセットした光学ドライブをダブルクリックしてください。

2 「インストール」ボタンをクリックします。

参考
キーボードの「F5」キーを押しても、同様の操作となります。

インストールメニュー画面が表示されます。



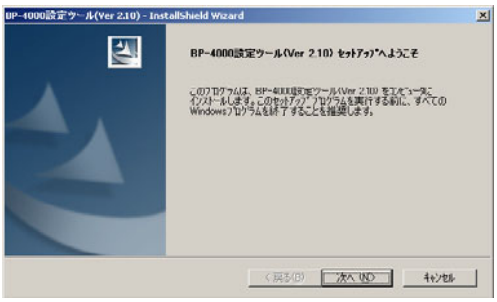
3 「設定ツール」ボタンをクリックします。

参考
キーボードの「F4」キーを押しても、同様の操作となります。

参考
「もどる」ボタンをクリックすると、メニュー画面に戻ります。

設定ツールのインストール画面が表示されます。

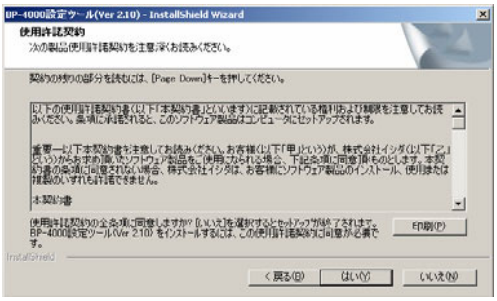
4 「次へ(N)＞」ボタンをクリックします。



次へ(N)＞

使用許諾契約を確認する画面に切り換わります。

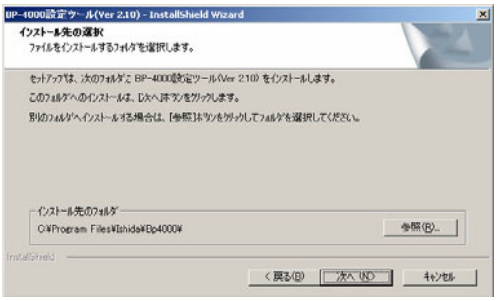
5 使用許諾契約をお読み頂いた後、「はい(Y)」ボタンをクリックします。



はい(Y)

インストール開始画面に切り換わります。

6 インストール先のフォルダを指定した後、「次へ(N)」ボタンをクリックします。

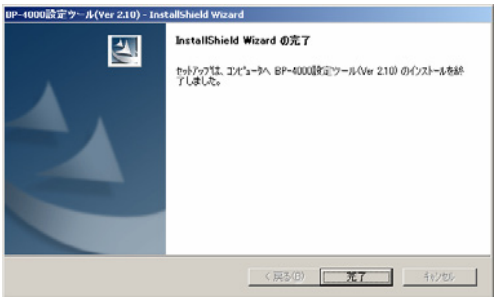


次へ(N)＞

インストールが開始されます。

7 「完了(F)」ボタンをクリックします。

インストールが終了すると、インストールの完了を知らせる画面が表示されます。
「完了(F)」ボタンをクリックして、インストール作業を終了します。

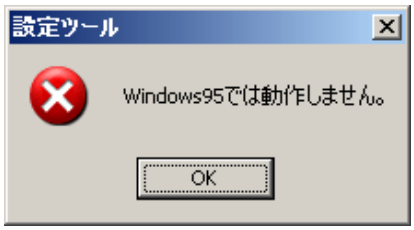
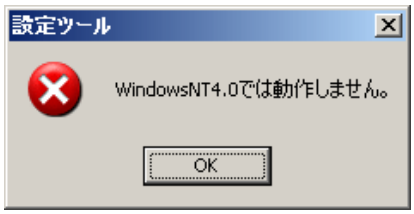
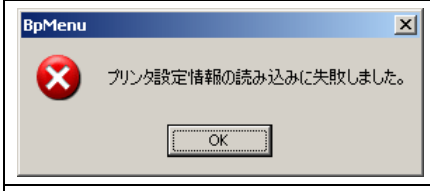


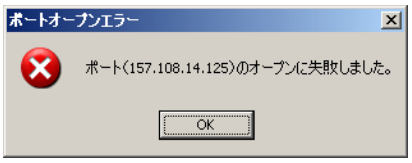
完了(F)

9　エラー一覧

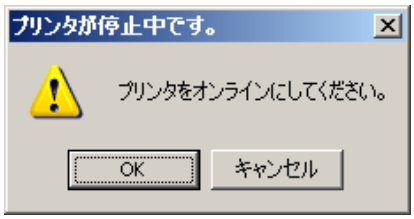
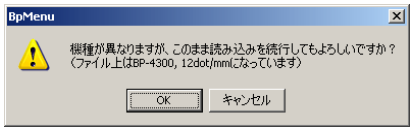
BP-4000設定ツールを操作中に表示されるエラー画面および警告メッセージについて説明します。

9.1　エラー画面

エラー画面の表示例	原因	対処方法
	すでに設定ツールが起動している状態で設定ツールのアイコンをダブルクリックするなどして、2重に起動しようとした	すでに設定ツールが起動している場合は、どちらかの設定ツールを終了させてください。 設定ツールが起動されていない場合は、設定ツールが異常終了してタスクに残っている可能性がありますので、パソコンを再起動してください。
 	サポートされていないOSで設定ツールを起動しようとした	OS　Windows95/NT4.0は、サポートされていません。
	すでに他のプリンタに割り当てたIPアドレスを割り当てようとした	プリンタごとに違うIPアドレスを設定してください。
	設定ツールで保存した設定ファイル以外のファイルを読み込もうとした	設定ツールで保存した設定ファイルを指定してください。
	読み込もうとしたファイルが壊れている可能性があります	このファイルは使用できません。 設定ファイルを再度作成するか、別のファイルを指定してください。
	指定したファイルがすでに存在しており、読み取り専用の属性が設定されている	ファイルの読み取り専用の属性を解除してください。
	ディスク容量が不足していて書き込みできない	ディスクを整理して、ディスク容量を確保してください。
	書き込み権限がないネットワーク上のフォルダが指定された	ネットワーク上のフォルダに書き込み権限を与えてください。

エラー画面の表示例	原因	対処方法
	プリンタ設定画面へ移行時に、プリンタの電源が切られた	プリンタの電源を確認してください。
	プリンタ設定画面へ移行時に、接続ケーブルのトラブル等で通信できなくなった	通信ケーブルの状態を確認してください。
    	プリンタ設定画面へ移行時に、他のアプリケーションがポートを使用中である	他のアプリケーションがポートを使用中であるかどうかも確認してください。
	テスト発行時に、送信エラーが発生した	プリンタおよび通信ケーブルの状態を確認してください。
	テスト発行時に、プリンタ側でエラーが発生した	プリンタの状態を確認してください。
	「指定印字条件」項目を“無効”に設定した印字条件を使用して、印字濃度のテスト発行を行った	印字濃度のテスト発行を行いたい場合は、ラベルセットモードにて「指定印字条件」を“有効”に設定してください。
	すでにパソコンにインストールされている設定ツールから、Acrobat Reader、プリンタドライバ、バーコードOLEサーバのインストールを実行した	CD-ROMからインストールしてください。
	設定ツールのインストールができなかった	Admin権限のないユーザでインストールした場合が想定されます。 設定ツールのインストールを行う際は、Admin権限のあるユーザでログインした後に行ってください。

9.2 警告メッセージ

警告メッセージの表示例	原因	対処方法
	プリンタ設定画面へ移行時に、プリンタが停止中であった	プリンタをオンラインにしてから、OK をクリックしてください。 キャンセル をクリックすると、インターフェース選択画面に戻ります。
	読み込もうとしたファイルが、現在接続されているプリンタの機種と異なっていた	機種が異なっていても構わない場合は、そのまま OK をクリックしてください。 読み込みを中止する場合は、キャンセル をクリックしてください。

株式会社イシダ

本社　京都市左京区聖護院山王町４４番地　〒606-8392　TEL.(075)751-1686（直）

東京支店　東京都板橋区板橋１丁目５２番１号　〒173-0004　TEL.(03)3962-6201（直）

取扱店

P/N A0126E 第 6 版